

クリントートCEの効果確認試験

JA新すながわ

寿松木 裕



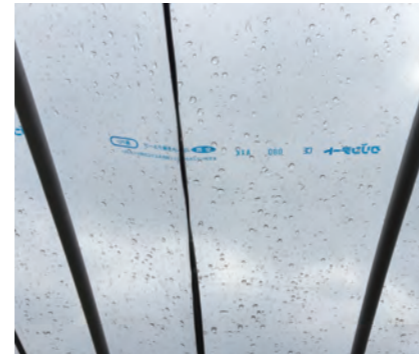
ハウス内(慣行品)



ハウス内(試験品)



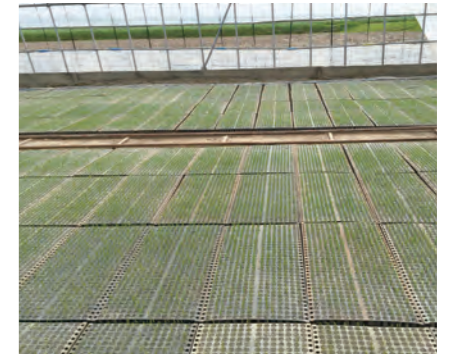
フィルム表面(慣行品)



フィルム表面(試験品)



育苗期間(試験品)



育苗状況(試験品)

試験目的	クリントートCEの外張り使用時の効果確認
試験作物及び品種	水稻
試験資材及び数量(規格)	クリントートCE(0.08mm×800cm×114m)
慣行資材	クリントートDX(0.1mm品)
栽培方法	<p style="text-align: center;">播種日</p> 慣行区:5月1日 試験区:5月1日
資材使用期間	4月9日~7月25日
試験区面積	630㎡

試験結果

- (1)作業性について(慣行品との比較)
張る、剥がす作業は軽く、楽だった。
- (2)作物の生育状況または、収穫への影響
慣行区と変わらなかった。
- (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について
【優位点】：軽さ。
- (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について
ハウスバンドとの擦れは慣行品と変わらなかった。
- (5)促成・抑制効果について
慣行品と変わらない。
- (6)保温効果について
特に気にならなかった。
- (7)雑草・病害虫の発生について
特に無し。

モニター感想

軽いフィルムということで使用してみたが、作業は確かに楽だった。
また、擦れについても慣行品と変わらない気がした。
保温性については、苗を入れる時期が遅いため特に気にならなかった。
早い時期に苗を入れるハウスは農ビを使用している。
次年度は擦れる部分の強度を確認していきたい。

JA担当者の感想(砂川資材課 岡田課長)

厚さ0.1mmの慣行品と比較すると薄くなった分作業は軽減され、コスト削減になるため組合員の負担を軽減できる資材だと思う。
しかし、薄くなっている分保温効果と耐久性に不安は残るため、展張には注意が必要だと思う。
次年度以降の生育状況を確認して判断していきたい。

今後の使用について

継続して使用したい。

- 1 高温対策
- 2 害虫忌避効果
- 3 調光フィルム
- 4 クリントート
- 5 機能性マルチ
- 6 育苗資材
- 7 不織布
- 8 その他